

雪害時の早急な道路交通確保訓練を見学しました！

令和5年12月15日



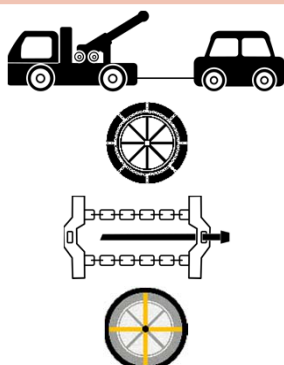
12月11日（月）に行われた、**雪害時の早急な道路交通確保訓練**を見学しました。

この訓練は、雪害時の早急な道路交通の確保を行うために、立ち往生（スタック）車両・放置車両の移動作業手順及び器具使用方法の習得を目的としたものです。

訓練では、**JAF岡山支部の方を講師**としてお招きして訓練を行いました。

また、**岡山県トラック協会**にもご協力いただき、実際に大型トラックへのチェーンの取り付けも行いました。

訓練は以下の内容で行いました。



車両けん引

タイヤチェーンの装着

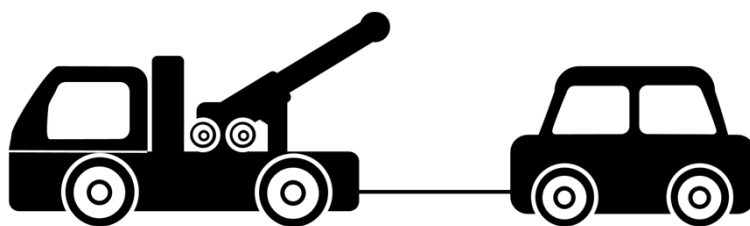
ワンタッチチェーン装着

スノーソックス装着





まずはけん引車による立ち往生（スタック）車両を想定した車両の移動訓練です。



Point! ▶ けん引の際の注意点！

ロープけん引はけん引車とけん引される車とで運転手が2名必要。

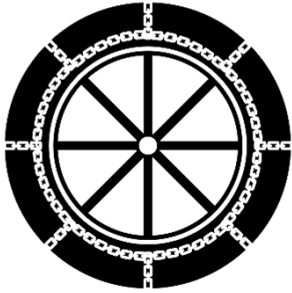
けん引前に事前にしっかりと運転手同士で
「どこまで」「どうやって」するのか、また「お互いの合図」を決めること！

お互いの立場に立ってみて、不安をなくしてから行う！



ロープを取り付ける場所にも注意が必要とのことです。

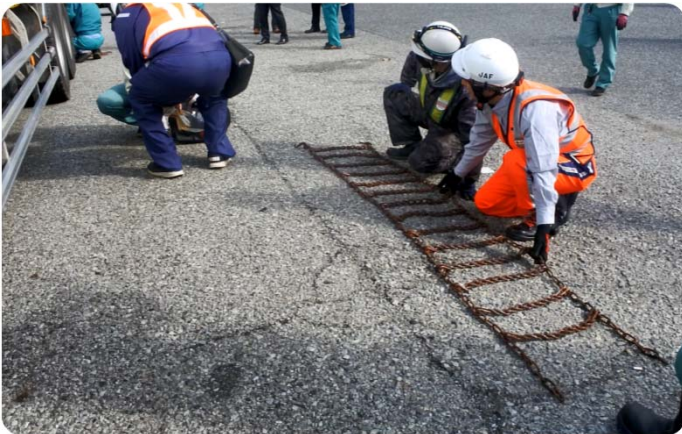
けん引車の上の方に着けると危ないと言われていました。



次に**タイヤチェーン**の装着です。

まずはJAFの方より説明をいただき実際に実技を行いました。

今回使用したのは**ラダーチェーン**と言われる、はしご型のチェーンです。



チェーンを広げるところからスタートです！
雪が降っていると置いた瞬間に雪に沈むことがあるため、何か敷物を敷くと良いということでした。



Point! ▶ チェーンを装着する前の準備の際の注意点！



表と裏の**向き**を合わせること！！

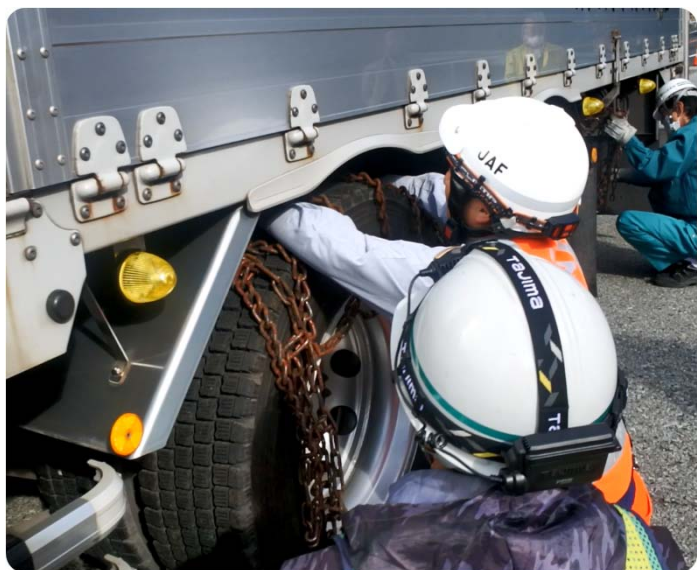


ねじれがないかチェックする！！

ねじれがあるとチェーンが切れる原因となります。



チェーンをしまう時に畳むと次に装着する時にねじれる可能性が低くなるそうです。



大型トラックへの装着の様子。
チェーンはかなり重たそうでした。



チェーンをタイヤの表側と裏側に合わせ
ていきます。今回は外側のタイヤだけに
付けています。

チェーンの長さがタイヤの大きさに併せ
て調整されていると、チェーンに余裕が
なく、フックを繋げるのがとても大変だ
と言われていました。



表側のフックを留めている様子。



大型トラックの場合には、たるみを均等に
するために、180度ほど車を前進若しく
はバックして調整するようです。



たるみを絞るために、チェーンにバンド
を着けます。

これも **向きがある** ため注意が必要です！

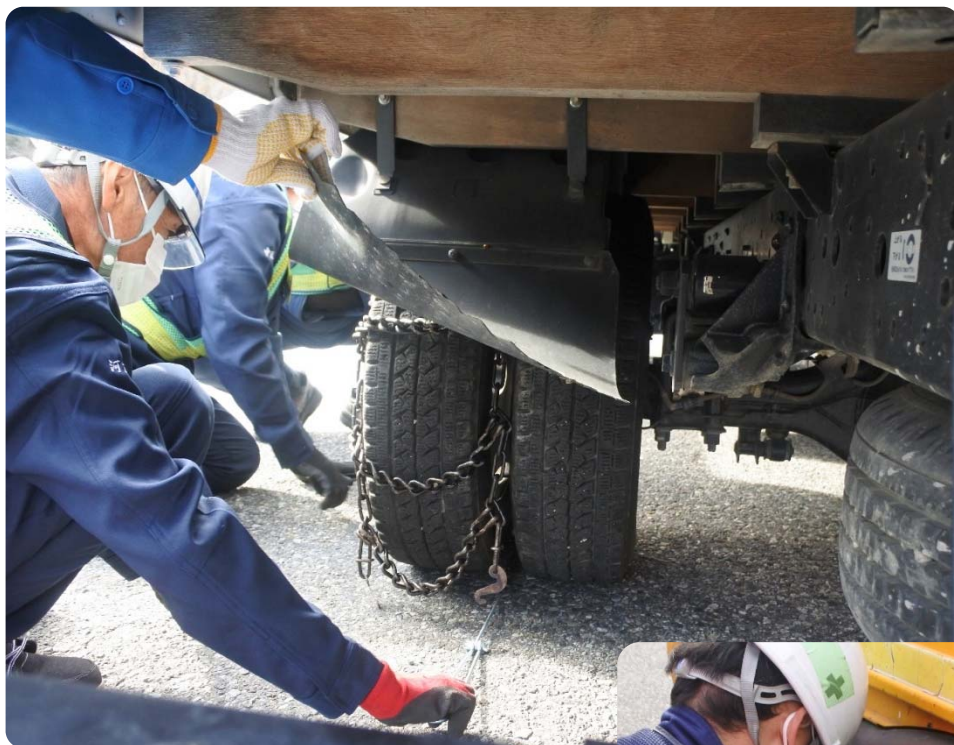


平べったい方がタイヤ側とのことです。



こうした強い針金みたいな物
でフックの様な棒を作ってお
くとタイヤの裏側のチェーン
を接続するのに役立つそう
です！





訓練では、大型トラックだけではなく、
トラックや作業車、乗用車へもタイヤ
チェーンを装着しました！



色分けされたチェーンは
使いやすそうでした！



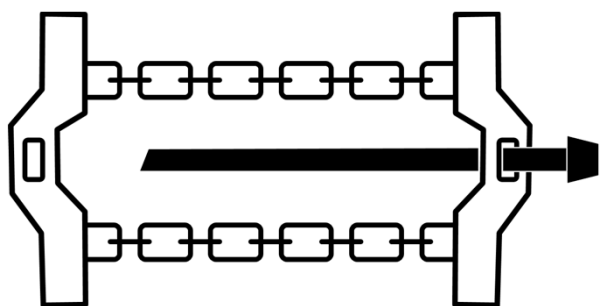
Point! ▶ 雪がない場所で実際に装着してみる事が大切！



いきなり雪の中でチェーンを装着しようとするのが難しい。



一度雪のない平らな場所で**装着の手順を確認する事はとても大切！**



次にワンタッチチェーンの装着です。

これは、スタック状態からの**緊急脱出用**です。

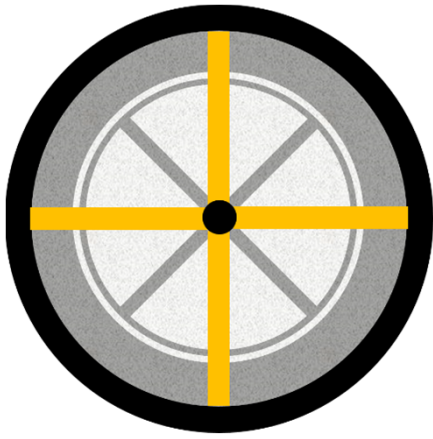
走行には使用できません。



タイヤに1つ装着するようです。

バンドを絞るのが少し難しそうでした。





最後は**スノーソックス**の装着を行いました。



取付後の速度は、乗用車で50 km/h以下、
バスやトラックは30 km/h以下とのことです。



記事作成：計画課 A